

～ 遠野ボランティアセンターを通しての活動報告 ～

2011年10月3日

福岡地方バプテスト連合 災害対策窓口

10月3日(月) 東京駅から、8時40分の東北新幹線「やまびこ」号に乗って、11時40分に新花巻駅へ降り立ちました。

釜石線の快速の車中で地元の年配のご婦人とお話をしたのですが、これから冬を迎えるにあたり、避難所や仮設住宅の方々は冬物などが必要だそうです。

(東京～新花巻は、3時間)



それから、釜石線の快速に乗って、42分ほどで遠野駅に着きました。

ここは、民話の里で駅前広場には、河童のオブジェがありました。

タクシーの運転手に伺ったら、冬場はマイナス10度にまでなるそうです(タクシーの運賃は、1380円かかりました)

遠野駅から車で10分ほどで、日本バプテスト連盟が設けている遠野ボランティアセンターに着きました。20名が宿泊可能です。

10月3日から、専任管理者として、佐藤浩先生が着任されます。

センターは、青笹郵便局の近くにあります。





玄関先には、東日本大震災 遠野ボランティアセンターと大きく張り紙がありました。

道をはさんだ向かい側には、青笹中学のグラウンドがあります。

センターについたら、日本バプテスト宣教団の方々3名が、大工仕事をされていました。何脚もベンチを作っておられました。

3時に珈琲をお出ししてお話を伺いましたが、仕事に戻る前に一緒に祈ったのですが、祈りの言葉に痛みを感じつつ祈られていることが伝わってきました。



センターの中には、たくさんの安全靴や長靴やヘルメットなどが並んでいました。また、冬用の寝袋もありました。

踏み抜き防止の中敷きと、軍手などは、持参して下さい。

水曜日から暖房の工事が行われる予定になっています。

今日の午後7時には、7度まで気温が下がっています。



「遠野まごころネット」がある「遠野総合福祉センター」は、「体育館」裏にありました。

バイパスに面した「ツルハ ドラッグ」のある交差点から遠野北小学校方面に入ります。

体育館は、一般のボランティアの宿泊所になっているようです。



こちらが「遠野まごころネット」の事務所のある「遠野総合福祉センター」の建物です。

遠野まごころネットを通してボランティア活動をする場合には、事前にインターネットで登録をする必要があります。地元の社会福祉協議会でボランティア保険に事前に加入して戴く必要があります。また、必要なものなどが掲載されています。

#### ■遠野まごころネット

- ・ <http://tonomagokoro.net/>
- ・ 遠野市松崎町白岩字薬研淵 1 - 3 遠野総合福祉センター内
- ・ 電話 0 1 9 8 - 6 2 - 1 0 0 1

#### ■一日の流れは以下の通りです。

- ・ 各自で朝食。
- ・ 7時30分 朝礼。朝礼後に、現場への振り分けがすぐに行われます。
- ・ 被災地での支援活動（瓦礫撤去や、泥出し他）
- ・ 16時 活動終了
- ・ 17時 オリエンテーション（初めての参加者を対象）。体育館にて。
- ・ 17時30分 全体ミーティング（全員必ず参加）。体育館にて。



思いもかけなかったのですが、  
空には虹がかかっていました。

この大地に復興の希望を示して  
くれるような虹でした。3人の宣  
教団のメンバーと一緒に感動して  
眺めました。

記事：災害対策窓口 藤委員